

NPO法人 森づくり奈良クラブ

<会報 第92号>



事務局：(公財)奈良県緑化推進協会内
〒634-0033 橿原市城殿町459
TEL 0744-26-0200
FAX 0744-26-0201
メールアドレス：gvnc@nifty.com
ホームページ：
<http://gvnc.eco.coocan.jp>

◇「奈良県山の日・川の日」の協賛イベントを盛大に開催

8月12日(土)当クラブ主催で、矢田山子ども交流館周辺を会場として、公開イベントを開催。盛況のうちに無事終わりました。

当日は朝9時30分から受付を開始すると11家族30人もの人が来場いただき、10時からの理事長挨拶でイベントが開始されました。



その後、川波さん指導でストレッチを行い、身も心も柔らかくした後、森林インストラクターである鈴木前理事長と川波先生を講師として2班にわかれて自然観察に出発しました。

矢田山名物のラクウショウの並木から府県の森へとゆっくりと回り、ホオノキ・トチノキ・ケヤキ・ヤマザクラなどを観察しながら強い日差しを避けつつシロウチクなど珍しい植物も見て、子ども交流館に戻りましたが、想定を超える観察時間で参加者の熱心さが伺えました。



午前実施の「自然観察」資料の表紙



昼食の後、午後は子ども交流館でクラフト、工作を楽しみました。汗をいっぱいかきながら、竹や桧などを慣れない鋸で引いていきます。ただ暑さに座り込む大人が多くなっていく中、子供たちは元気一杯で、切った竹や木を大事そうにペーパー掛けていく姿は真剣そのものでした。

理事長作成のレーザーで名前を入れたコースターをお土産にお渡しし、このイベントは無事終了しました。

今回は奈良県の広報パンフレットに掲載されたおかげで満員札止めの参加者でした。来年も楽しみです。



矢田山と私

渡邊 香緒里

私をはじめて森林ボランティアの活動に参加したのは2000年春でした。大阪府寝屋川市より奈良市に転居し、緑豊かなこの地で地域に根差した活動に参加したいと思ったのがきっかけです。

当初、人工林の枝打ちや間伐が主流でチェーンソーの研修を受けたり、また奈良県の森林環境教育の研修を受講したり、いろいろなことを学ばせていただく中で自然との関わりの奥深さを感じたことを覚えています。

また研修旅行では奈良県の村々を訪ね、地域の人々の暮らしや伝統を教えていただきました。黒滝村、上北山村、下北山村、川上村、天川村、野迫川村、東吉野村、曾爾村。脈々と受け継がれているそれぞれに違う山に根差した人々の暮らし。町で育った私には新鮮であるとともに長い年月の中で培われた山に暮らす人々の知恵の素晴らしさに目を見張りました。

活動の内容も少しずつ形を変え、今はそのバリエーションも森林整備だけではなく草木染やこんにゃく作りなど多岐にわたっています。もちろん、年末のお餅つきや春のお花見、秋の芋煮会等のお楽しみも魅力のひとつ。みんなで集い食べて笑って過ごす楽しいひとは私の暮らしの活力剤となっています。

これからも矢田山が日ごろの疲れを癒すことのできる身近な場所として、地域の人々に愛される自然公園であり続けるお手伝いが少しでもできるように、活動を続けていきたいと思えます。矢田山でひとりでも多くの人に、山に親しみ自然の素晴らしさを実感していただけることを切に願います。



この四半期の活動記録

1 定例活動・・・みんなの森を中心とした維持・整備活動

- ・ 7月 8日 曇 10名 冒険の森の樹名札の設置、入口標識の撮影、及びみんなの森倒木処理とみんなの森上部の草刈り
- ・ 7月22日 晴 9名 冒険の森下部林内の下刈り、交流館周りの生垣の剪定、平成の森の草刈り、8月12日のイベント準備
- ・ 8月12日 晴 10名+一般参加30人を迎え、山の日・川の日イベントを開催。午前は自然観察。午後は交流館で竹材・木材等を活用したクラフト
- ・ 8月26日 晴 10名 モミジ谷遊歩道脇の除草と植栽地の下刈り、別版は工務店横の草刈りと国道308号沿線の整備（酷暑のため、午後は休止）
- ・ 9月 9日 晴 9名 冒険の森の入口標識の設置、林内の草刈り。みんなの森上部育苗地から下に向かって遊歩道の草刈。午後は理事会を開催
- ・ 9月23日 晴 6名 みんなの森木橋上部の森と藪で谷筋に向けて笹刈り、平成の森の草刈り



7月8日

8月12日



8月26日

9月9日

7月23日

2. 自主活動・・・ 林野庁助成事業を中心に

- ・ 7月 2日 (日) 晴 5名 小笹の辻/緑ヶ丘側高地周辺の対象地の枯損木・危険木の調査及びマーキング。計100本以上の対象木を抽出
- ・ 7月19日 (水) 晴 5名 みんなの森の木橋下の道路を整備。もみじ谷の登山道の簡易補修
- ・ 8月 6日 (日) 晴 5名 小笹の辻南側対象地の倒木処理。危険木の除去。
- ・ 9月 3日 (日) 晴 6名 小笹の辻南側対象地の倒木処理の続きと処理した木の処理及び林内整理。



7月2日

8月6日

9月3日

3. その他の活動

- ・ 7月15日 (土) 天川村のキハダ植栽地で生育確認とナンバリング。植えた本数のとほぼ同数の生育確認。(2名)
- ・ 7月23日 (日) (3名)、9月24日 (日) (2名) 矢田山にてチェーンソー講習会。各々5名受講。
- ・ 9月30日 (土) 9/7開催予定の奈良市NEWイベントへの準備のため、元明天皇陵横県有林の草刈り及び当日用の栗拾いを実施 (4名)

◇あと少しの期間、スズメバチに注意しましょう

スズメバチの活動期間は5月～11月で、8・9月が最も活発で危険な時期ですが、今年10月上旬に地方自治体から依頼された駆除業者が刺されて死亡する事案が発生しました。

少なくとも10月いっぱいから11月上旬くらいまでは油断禁物のようです。

- キイロスズメバチ**：働きバチは17～27mmで全体に黄色みが強い
- コガタスズメバチ**：働きバチは22～30mmで黒と黄色のしま模様。オオスズメバチより一回り小さい
- オオスズメバチ**：27～40mmで親指ほどの大きさ。女王バチはさらに大きい



1.生息場所

- ・**キイロスズメバチ**：都市周辺で増加していて、木の枝や崖、軒下、地中など。
- ・**コガタスズメバチ**：庭木や軒下など、人の生活に最も近いところ。
- ・**オオスズメバチ**：森林の土中や木の根元、樹洞で、市街地近くに巣を作り、樹液に集まる。

2.刺された時の症状

全身のじんましん、口の周りや舌の腫れ、胸の圧迫感や腹痛、嘔気、下痢などの胃腸症状を伴うこともある。重篤な場合、血圧低下から全身に酸素が行き渡らず（アナフィラキシーショック）死亡することもある。刺されて30分以内に症状が現れる。2度目3度目に刺されるとショック症状が大きく危険。

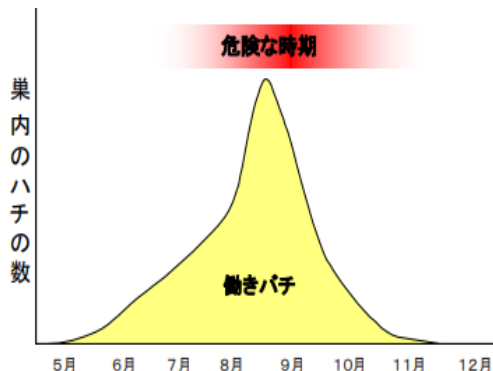
3.応急措置

周囲にまだいる場合は、10～20m程離れた安全なところに避難し（※アナフィラキシーショックの疑いがありエピペン注射液を持つ場合先ず本人が打つ）、救急車を呼ぶか病院に連れて行く。救急車が来る迄体を横たえ足を少し高くし、嘔吐で窒息しないように顔を横に向け、10分以内にポイズンリムーバーなどで毒を吸い出す。ショック症状がなくても、毒を吸い出した後は患部を水洗いし、抗ヒスタミン系の外用塗布薬を塗り、傷口を冷やす。

4.日常的な対処法

黒色に反応するので帽子や衣服は黒色を避ける。整髪料や香水にも寄ってくる。柑橘系の飲み物にも引き寄せられる。

ハチが近くを飛んでいる場合はじっとして、絶対に手で振り払ったりしない。飛んでいる数が急に増えたら近くに巣がある可能性がある。スズメバチが人を刺すのは、巣を守るためで不用意に振動などの刺激を与えると、ハチが飛び出してきて刺さされる。行動前には必ず巣の有無を観察する。ハチが一定方向に飛んでいくときは巣があるので、近づかないように注意してその場から離れる。



◆今後のおもなイベント

- ①10月7日(土) 奈良市 (NEW) 主催の森林体験講座に協賛 (元明天皇陵周辺)
 - ②10月下旬の日曜日 天川村洞川のキハダ植栽地で生育調査 (FV連・日帰り)
 - ③11月7日(火) 春日山古事の森 普及イベント (石仏見学・枝打ち体験)
 - ④11月15日(水) 東洋アルミ(株)からの参加者へ刈払機講習会
 - ⑤11月18日(土) 明日香村農商工祭 森の学校 (明日香石舞台古墳周辺)
 - ⑥11月下旬 法隆寺古事の森で草刈り活動ほか
 - ⑦12月上旬 森づくり奈良クラブ臨時総会 (電子的手法で実施)
 - ⑧12月23日(土) 年末公募イベント (門松作り・豚汁昼食会) 兼納会
 - ⑨1月13日(土) クラブ活動始め
- ※1月8日(日)の自主活動は中止。代替日は別途周知。



■発行人 NPO法人
森づくり奈良クラブ 奥 恵一郎

〈後記〉 今回は渡邊さんに投稿いただきありがとうございました。
自分も一昨年(2019年)の9月下旬、矢田山で刈払機作業中オオスズメバチに刺されその背中(腰)の皮膚の部分は今も硬くなっています。十分注意しましょう (E)